

銀賞

バケットピン抜きホルダー

[青森県支部]

日立建機日本株式会社 東北支社 北東北支店 八戸営業所
伊東 悠太

【考案の動機】

バケットピンを抜く際、重量物のピンが落下する事になり、舗装面などを損傷させる為、緩衝材を敷くか、バケットブラケットのピン取付部の僅かな肉厚分にピンを残して抜くなどのコツのいる作業になる。以上を改善する為に考案した。

【考案の内容】

《改善前》



《改善後》



バケットブラケットに引掛ける

* 写真のような治具を製作し、ピンが抜け出してもピンがパイプ部に残り落下しないで作業が可能。また、2ヶ所同時にピンの脱着作業が出来る構造とした。

【考案の効果】

- ・ ピンの落下を防ぐと同時に作業者の安全が確保出来た。
- ・ ピンを抜く、挿入の両方の作業が安全に出来るようになった。